

4月2日(月)

自然を造られた神様

聖書朗読 詩篇 104:15~35

主は家畜のために草を、また、人に役に立つ植物を生えさせられます。人が地から食物を得るために。 詩篇 104:14

私たち夫婦は、初めて孫に本をプレゼントする際いつも決まって同じ本をプレゼントします。それは、『わたしの聖書』という子供向けの聖句集です。この本には、短い聖句が沢山収められています。短い聖句なので、2歳前後の小さい子でも簡単に覚えることが出来ます。実はその中の聖句の一つが、本日の聖書朗読箇所です。神様が草花や野菜をお造りになり、成長させてくださっていることを、小さな頃から覚えることができれば、素晴らしいと思いませんか。

子どもは、感受性が豊かで何に対しても好奇心旺盛です。あなたも周りの子供たちの霊的成長を手伝ってあげることが出来ます。神様が造られた自然の中を、子どもたちと一緒に散策してみたいかですか。お花、太陽、月、雲、雨のしずく、強風で曲がった木、雪の結晶などを子供たちと一緒に観察してみましょう。これら全てが神様の創造の御業によって造られたことを知るとき、驚きや感謝の気持ちが育つと思います。そしてそうした気持ちが、神を敬い礼拝する心へと繋がっていくのです。神様は、天地万物の創造主であり、どんな被造物よりも大いなるお方です。さあ、子供たちと一緒に、私たちも創造主なる神を見上げ、神様とその愛に心を向けましょう。今日の聖書朗読箇所で大衛が讃美しているように、私たちも神を讃えましょう。『主よ。あなたのみわざはなんと多いことでしょう。あなたは、それらをみな、知恵をもって造っておられます。地はあなたの造られたもので満ちています』(詩篇 104:24)。

誰がお花を造れますか？ 私は出来ません、あなたは？

誰がお花を造れますか？

誰も造れませんが、神様だけがお造りになれます

(アメリカの子供讃美歌より)

讃美歌 90

祈り 神様、この素晴らしい世界を造って下さり、ありがとうございます。あなたがお造りになった世界の美しさに気付くことが出来ますように。またこの世界に生きる私たちの果たすべき役目に、気付くことが出来ますように。イエス様の御名を通して祈り致します。アーメン。

イレ－・Y・マトックス 1963年

今日の力

2018年4月2日～4月8日

翻訳 伊藤若菜

編集 相川忠義

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

4月3日(火)

祈りを通して神に拠り頼む

聖書朗読 詩篇 16篇

私は、主に申し上げました。「あなたこそ、私の主。私の幸いは、あなたのほかにありません。」
詩篇 16:2

どの家族にも、子どもが大きくなり巣立った後でも大切な宝物として覚えている話があるのではないのでしょうか？ ある男性は、彼がまだ小さかった時に毎晩お父さんの膝の上に座っていた習慣をよく覚えていました。眠くなってくると、お父さんに「ベッドへ連れて行って」とお願いしていたのです。

今日の聖書朗読箇所、ダビデは、神様がいつも傍に居て下さることの幸せと喜びについて明確に書いています。神様が共に居て下さることの安心感は何にも代え難いものではないのでしょうか。今の時代を生きる、私たちクリスチャンもこの恵みを十分に味わっているのでしょうか？ クリスチャンが神様から頂いている安心感とは、この詩によく表現されていると思います。

神からの恵み それは罪からの解放
日々頂く神の導き 闇に対する勝利
聖霊の御助けによりすべてを乗り越えられるという確信
そして永遠なる神の臨在

讃美歌 270

祈り お父様、あなたの愛により私たちはこの世での生活が守られていて、また永遠のいのちを与えられていることを思い起こさせて下さい。
イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

グレンダ・ラヴァネリ 1979年

4月4日(水)

神はわがやぐら

聖書朗読 詩篇 61篇

神はわれらの避け所、また力。苦しむとき、そこにある助け。
詩篇 46:1

夏に妻のヘレンと私は、スウェーデン、デンマーク、ノルウェーの3カ国を2週間の旅行で訪れました。その中で特に鮮明に覚えているのが、スウェーデンのヘルシンボリにあった、塔です。その塔からはスウェーデンとデンマークの間にある海峡を見降ろすことができました。その大きなレンガ造りの塔は、はるか昔の中世に巨大な城の一部として造られました。デーニン人の要塞としてスウェーデン人から守るためでした。

疲弊した兵士たちにとって、逃げ込むことのできる出来る頑丈で高い塔があるのは、物理的にも精神的にもとても心強いことだったのではないのでしょうか。詩篇 61:2 の『私の及びがたいほど高い岩の上に、私を導いてください』という御言葉を思い起こさせます。

宗教改革者マルティン・ルターも、ローマ・カトリックから断絶された際、同じように感じたのではないのでしょうか。この経験をもとに書かれたのが、讃美歌 267 番「神はわがやぐら」だと言われています。

神はわがやぐら、わが強き盾、	いかに強くとも いかでか頼まん、
苦しめるとき、近きたすけぞ。	やがては朽つべき 人のちからを。
おのが力 おのが知恵を たのみとせる	われと共に 戦いたもう イエス君こそ
隠府の長も などおそるべき。	万軍の主なる あまつ大神。(1, 2 節)

神様なしで得られる勝利はありません。誰も攻め落とすことが出来ない砦であり、「私の及びがたいほど高い岩」であられる主イエス様にこそ拠り頼みましょう。神様が共に居て下されば、恐れる必要は全くないのです。

讃美歌 267

祈り 私たちのお父様、あなたというとても強く、逃げ帰る場所が私たちに与えられていることを思い起こさせて下さい。
イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

M・ノーヴェル・ヤング 1971年

4月5日（木）

喜びに満ちた讃美をお捧げする

聖書朗読 詩篇 68：1～10

イエスがすでにオリーブ山のふもとに近づかれたとき、弟子たちの群れはみな、自分たちの見たすべての力あるわざのことで、喜んで大声に神を讃美し始め・・・

ルカ 19：37

自分がどんな人か説明して下さいと言われたら、どう答えますか？ 立場や肩書を答えますか？ それとも出身地や住んでいる場所を答えますか？ 古代の人々が異教の神々について説明する際、彼らはそれらの神々が持つとされていた力について説明しました。例えば、風や海、そして穀物の収穫などに影響を与える力です。しかしイスラエルのまことの神は、ご自身が歴史を通してなさった御業を通して、ご自身を人々に示されました。

詩篇68篇は、神の箱がダビデによってエルサレムに運ばれたことを祝う（第二サムエル6:12）際に歌われた詩篇ではないかと考えられています。つまり、歴史の中での神様の御業を讃美するために書かれたのです。神様は、エジプトで奴隷となっていたイスラエルの民を救い出しました。また神様は、貧しい人々や困難な状況に居る人々を助け導かれましたし、不道德な行いをする人を裁かれました。そして何より、神様はイエス様を通して、罪の奴隷となっていた私たちを救い出して下さいました。

私たちの祈りは通常、何かを求める願いや何かに関する感謝がその大部分を占めていると思います。しかし詩篇68篇では、神様のご性質について讃美しています。人々を愛し、守り、導き、裁くこと——これらは、私たちが信じるまことの神のご性質を良く現しています。神がお造りになった人間のために行動を起こされる神、それが私たちの神様です。

『しかし、正しい者たちは喜び、神の御前で、こおどりせよ。喜びをもって楽しみ』（3節）。私たちもこの詩篇68篇のように、神様を讃美したいものです。

讃美歌 7

祈り 天におられるお父様、御名を讃美します。導いて下さり、守って下さることに感謝します。御名を讃美し、喜びに溢れる日となりますように。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

マークス・マクドウェル 1998年

4月6日（金）

神様の素晴らしいお働き

聖書朗読 詩篇 92篇

主よ。あなたのみわざはなんと大きいことでしょう。あなたの御計らいは、いとも深いのです。

詩篇 92：5

読者の方々の中には、最近何かお辛い経験をされた方もおられるかもしれません。地上的な何かを失って、悲しんだ方もおられるかもしれません。そんな方は、本日の聖書朗読箇所である詩篇92篇をご覧ください。特に4節に注目してください。『主よ。あなたは、あなたのなさったことで、私を喜ばせて下さいましたから、私は、あなたの御手のわざを、喜び歌います』。

自分自身の人生を、もし「私が何を成し遂げたか」という基準で評価するなら、多くの方は自分自身の人生を低く評価し、がっかりするかもしれません。しかし、神様のお働きに目を向けるのなら、私たちの心に光が射し喜びが生まれるのではないのでしょうか。海の夜空で輝く星々、小鳥たちや草花、太陽や、銀のように輝く雲——これらの神様が造られた自然に目を向けてみましょう。また、『神のみわざ』（ローマ14:20）に励んでいるクリスチャンたちを通して、神様がどんなに素晴らしいことを成し遂げておられるか、思い巡らしてみましょう。

『神のみわざ』に励んでいる素晴らしいクリスチャンたちも、神様によって造られたのです。そして、人をお造りになることは神様以外誰にも出来ません。神の靈感により私たちに与えられている聖書に、そう示されています。また聖書自体も、神様から私たちに与えられている聖なる書物であり、神様以外に御言葉を与えることができる方は誰もいません。すべての善きことは、神様がなさっている御業なのです。もし、今自分自身がこれまで「何を成し遂げて来たのか」ということを振り返ってがっかりした気持ちになっているのであれば、ヨハネ6:29の御言葉を改めて読んでみましょう。あなたの信仰それ自体も神の業であり、神様はあなたを通して働いておられるのです。神様が造られた自然を見る時、自分自身を含め多くのクリスチャンたちを考える時、そして御言葉に触れる時、私たちはそれらすべてを造られた神様を讃美する気持ちが与えられるのです。

讃美歌 234 A

祈り お父様、全てのあなたの御業に感謝します。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ノーマン・ギブソン 1971年

4月7日(土)

弱い立場にいる人々への愛

聖書朗読 詩篇 41篇

父なる神の御前できよく汚れない宗教は、孤児や、やもめたちが困っているときに世話をし、この世から自分をきよく守ることで。 ヤコブ 1:27

貧しく困っている人の前を何もせずにイエス様が通り過ぎてしまうことがあるでしょうか？ イエス様が、小さい子どもを養わなくてはならないやもめを冷たくあしらうことがあるのでしょうか？ ホームレスの子ども達に背を向け「誰かが世話をすれば良い。私の仕事は福音を宣べ伝え、教えることだから」と言い、子ども達のことなど気に掛けないお方でしょうか？

皆さんご存知のように、イエス様はそのような方ではありません。イエス様は誰よりも、飢えている人々に隣れみを示される方でした。イエス様はまた、貧しい人を気に掛けるよう弟子たちにも教えました。

このイエス様が地上での働きをされていた頃、残念なことに、神様が貧しい人々を気にかけることを不快に思う人達もいました。今日の朗読箇所である詩篇 41 篇は、貧しい人々を気に掛けるイエス様が迫害されることを預言していました。こんにちでも、イエス様の教えに従う人々がイエス様と同じように迫害される場合があります。なぜならサタンは、私たちクリスチャンが貧しい人々を気に掛けることを止めさせたいからです。サタンは、私たちが貧しい人々に対して無関心になるよう私たちを誘惑します。しかし私たちクリスチャンは、サタンの誘惑に惑わされずに、まことの神の御心を求めて歩みたいものです。『よく聞きなさい。愛する兄弟たち。神は、この世の貧しい人々を選んで信仰に富む者とし、神を愛する者に約束されている御国を相続する者とされたではありませんか』(ヤコブ 2:5)。この聖句を心に刻みましょう。

讃美歌 121

祈り 神様、私たちが優しい心を持ち、その心で貧しい人々に接することが出来ますように、お導き下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ヘレン・M・ヤング 1956年

4月8日(日)

知恵と年齢

聖書朗読 詩篇 71篇 9節および 18節

あなたは白髪の老人の前では起立し、老人を敬い、またあなたの神を恐れなければならない。わたしは主である。 レビ 19:32

公共のアンケート調査で、ある町の住民に対し職業の調査をしました。一軒ずつ家を回り、「あなたの職業は何ですか？」と聞いて回りました。「セールスマンです」と答える人や「主婦です」と答える人がいました。あまり手入れが行き届いていない家に住んでいる高齢の男性に同じ質問をしたところ、「私は・・・ただの年寄です」と答えました。

私たちは、「高齢になること」を何か良くないことのように考えてしまうことがあります。そしてご年配の方々に対する私たち(若年者)の態度も、不適切な態度になってしまうこともあります。しかし、私たちは次の聖句を心によく刻みたいものです。『しらがは光栄の冠、それは正義の道に見いだされる』(箴言 16:31)。

またヨブ 12:12 では『老いた者に知恵があり、年のたけた者に英知があるのか』と書かれています(訳注:口語訳では『老いた者には知恵があり、命の長い者には悟りがある』)。時代の流れで昔ほど年配の方を敬わなくなっているかもしれません。しかし、年配の方の知恵から私たちが学ぶべきことは沢山あるのです。私たちの信仰の先輩たちの主に従おうとする姿勢(テトス 2:2)は、私たちの模範でもあります。

周りの人から自分があまり大切にされていないということを快く感じる人は殆どいないと思います。詩篇 71:9 では、『年老いた時も、私を見放さないでください。私の力の衰え果てたとき、私を見捨てないでください』とあります。年配の方は様々な知恵をお持ちです。その様な方々から学ぶことは、とても大切なことなのです。

讃美歌 284

祈り 親愛なる神様、歳を重ねるごとに知恵が増えることに感謝します。年配の方々に感謝し、礼儀正しく居られるよう助けて下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

マイク・レファン 1974年